

シリーズ 92 ふるさと 笠間に生きる人たち

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。



せせらぎの会 会員



代表者(大川 健さん)より

音訳とは、目の不自由な方に、文字などの情報を音声に変えて情報提供することをいいます。私は音訳活動を始めて6年目になります。定年を迎え、家でぼんやりしてはあまりにも切ないと思い、笠間市社会福祉協議会ボランティアの中で自分にできるもので、誰かの役に立てるものはないかと思い、活動に参加しました。

音訳は文を読むだけではないのです。例えば、複雑な業務の流れを矢印で表わした説明図などは、いざ音訳となると、どんな言葉で表現しようかと自分の脳をフル稼働します。私の老化防止、そして、視覚障がい者のための手助けをできる、まさにやりがいのある活動です。

視覚障がい者へ 正確な音訳情報を提供

私たちのサークルは、昭和63年に結成されました。当初は、幼稚園や保育所などの読み聞かせや紙芝居など数多くの行事を行っておりました。しかし、会員数の減少などもあり、平成18年以降は「社協だより」を中心とした音訳の活動をしています。目で見た情報をまるで見えているかのような音の情報に替えて音訳テープを作成しています。

現在の会員数は10名で、活動の拠点は笠間市社会福祉協議会のボランティアセンター岩間です。月一回の定例会の他に「社協だより」、「議会だより」の発行に合わせ臨時会合を開き、お互いの音訳担当ページを決めます。そして、地名や人名等の読み方を確認したのちにカセットテープに録音します。楽しみながらも正確な音訳情報を提供するために、真剣にメンバー同士で音訳内容の確認をしながら作業をしています。

〈お問い合わせ〉

代表 大川 健

電話 0299-45-5013

社会福祉協議会
ボランティアサークル
音訳「せせらぎ」

代表者／おおかわ たけし大川 健(安居)
設立／昭和63年
会 員／10人



役割分担の様子



録音前の打ち合わせ



録音機器の設定



「社協だより」録音風景